

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
4625	バグ	新規	ポートを接続したはずなのにシステムダイアグラム上で接続されていないように表示される	
4624	バグ	新規	システムダイアグラム上のRTCが消えない、OpenRTPが固まる	
4483	バグ	新規	マスターマネージャからC++のコンポーネントを起動できない。	
4618	バグ	担当	実行コンテキストが停止状態にも関わらず動作し続ける	
4453	バグ	担当	プログラムが終了しない	
4389	バグ	担当	rtcprof_java を引数なしで実行すると " dirname: オペランドがありません " の表示がでる。	
4388	バグ	担当	rtcd_java エラーがでる(Linux)	
4375	バグ	担当	Linuxのサンプルコンポーネントが動作しない	
4350	バグ	担当	windowsでマスターマネージャからjavaのRTCを起動できない。	
4263	バグ	担当	Manager::create_component()でclassファイルを検索する機能をOFFにする機能	
4261	バグ	担当	実行周期を変更してもonRateChangedコールバックが呼び出されない問題	
4212	バグ	担当	Java版のStart RTC daemon(windows)が動作しない	
4195	バグ	担当	モジュールロードパスを複数設定した場合の不具合	
3704	バグ	担当	ECにアタッチされたRTCが即座に追加されないためACTIVATE時に適切に遷移しない問題	
4623	バグ	解決	ネームサーバー起動ボタンを押した時に起動済みのネームサーバーが終了しない	
4567	バグ	解決	Java版のRTC生成時にパッケージエクスプローラーからJREシステム・ライブラリー、参照ライブラリが消える	
4566	バグ	解決	RTC生成時にパッケージエクスプローラーにソースコードが表示されない	
4559	バグ	解決	C++用のCMakeLists.txtのテンプレートに含まれているfind_package(OpenRTM) を削除する	
4555	バグ	解決	RPM build errors: Empty %files file debugsourcefiles.list への対応	
4523	バグ	解決	OpenRTPの設定でRtcBuilder->Code Generate->Documentを選択すると「変更を受け入れられません」という画面が出る	
4521	バグ	解決	英語環境で Basic 画面に文字化けがある	
4520	バグ	解決	OpenRTM-aist-Pythonのmsm生成時、rtcprof_python.batが含まれないようにする	
4518	バグ	解決	コネクタが切断される	
4488	バグ	解決	RTCBuilderでC++言語を指定した場合にRTCを生成できない	
4201	バグ	解決	VisualStudioソリューションファイル生成時のヘッダーの設定を正しくする	
4513	バグ	終了	ownedのECのProfileのowner属性にRTCのリファレンスを代入する。	
4509	バグ	終了	スレーブマネージャ起動時にmanager.modules.load_pathを¥で区切った場合に¥が消える	
4473	バグ	終了	サブスクリプション型がnewの場合に動作が停止する可能性がある	
4470	バグ	終了	サブスクリプション型がnewの場合に処理が停止することがある問題	
4464	バグ	終了	omniINSPOAでのオブジェクト非アクティブ化	

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
4462	バグ	終了	複合コンポーネントの子コンポーネントをexitするとプロセスが異常終了することがある	
4422	バグ	終了	NamingOnCorbaコンストラクタに渡すORBの参照カウントの問題	
4145	バグ	終了	ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映	
4144	バグ	終了	ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映	
4143	バグ	終了	ConnectorProfileへのrtc.confからのプロパティの反映	
4126	バグ	終了	OpenRTPのAll in one パッケージ作成時のエラー処理を確認する	
4115	バグ	終了	RTC間の接続線が描画されないことがある	
4026	バグ	終了	sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceをenabled_servicesに修正する	
4024	バグ	終了	sdo.service.consumer.enabled_service、sdo.service.provider.enabled_serviceの設定項目	
4020	バグ	終了	モジュールカテゴリの最後の文字が消える	
4016	バグ	終了	imageprocessingのdebパッケージにopencvの依存関係を追記する	
3977	バグ	終了	IDLファイルのコンパイルが実行されずインクルードファイルのエラーが発生する問題	
3760	バグ	終了	意味のない例外処理を削除する	
4484	機能	新規	manager.modules.<lang>.load_pathsをデフォルトで空白にする	
3432	機能	新規	ECスレッドを実行するCPUを固定する機能の実装	
3264	機能	新規	ダイレクトデータポート接続機能	
3242	機能	新規	Direct型のデータポートにコールバック機能を実装する	
4445	機能	担当	manager.components.preconnect の形式を変更	
4203	機能	担当	マスターマネージャから多言語のRTC(スレーブマネージャ)が起動できる	
4190	機能	担当	create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す	
4189	機能	担当	create_componentで指定するidの変更	
4187	機能	担当	manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する	
4186	機能	担当	モジュールロード時のエラーを取得できるようにする	
3398	機能	担当	スレーブマネージャの名前によるグルーピング	
3397	機能	担当	名前付けポリシー機能の拡張	
3396	機能	担当	名前ベースのコンポーネント指定方法の実装	
3395	機能	担当	共有メモリ型データポート接続機能	
3393	機能	担当	サービスポートのダイレクト接続機能	
3392	機能	担当	ダイレクトデータポート接続機能	
3391	機能	担当	トピックベースのポート接続機能	
3390	機能	担当	起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能(非同ープロセス)	
3389	機能	担当	コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する(非同ープロセス)	
3388	機能	担当	起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能(同ープロセス)	

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
3387	機能	担当	コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同一プロセス）	
3386	機能	担当	ネームサービス操作関数セットの実装	
3385	機能	担当	コンポーネント操作関数セットの実装	
3225	機能	担当	同一プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする	
4529	機能	解決	アイコンの作成（その2）	
4528	機能	解決	アイコンの作成（その2）	
4500	機能	解決	アイコンの作成	
3224	機能	解決	同一プロセスのコンポーネント間のデータポート接続で、データ転送をダイレクトに行うようにする	
4517	機能	終了	ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する	
4516	機能	終了	ComponentObserverからデータポートの入出力を通知するイベントを発行する	
4508	機能	終了	一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする	
4507	機能	終了	一度rtcprofでプロファイルの取得に失敗したモジュールは、次にgetLoadableModulesが呼ばれた時にはプロファイルの取得を行わないようにする	
4450	機能	終了	ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む	
4150	機能	終了	create_componentで指定したRTCが起動済みの場合にRTCのインスタンスを返す	
4149	機能	終了	create_componentで指定するidの変更	
4128	機能	終了	RTCのプロパティにマネージャ名を設定する	
4127	機能	終了	RTCのプロパティにマネージャ名を設定する	
4119	機能	終了	同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する	
4118	機能	終了	同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する	
4117	機能	終了	同一ポート間で二重接続をデフォルトで許可しないようにする、オプション指定で接続数等を設定する機能を追加する	
4107	機能	終了	スレーブマネージャがマスターマネージャが存在するか定期的に確認する機能	
4031	機能	終了	manager_nameに指定が無い場合にmanager_<プロセス番号>でスレーブマネージャを起動する	
4030	機能	終了	モジュールロード時のエラーを取得できるようにする	
3898	機能	終了	RTC Builderが生成するソースファイルの文字コードを「BOM付UTF-8」にする	
3889	機能	終了	OpenRTMConfig.cmakeでrtmCameraとrtmManipulatorもリンクライブラリに加える	
3713	機能	終了	CPU affinityを設定する機能を追加する。	
3712	機能	終了	CPU affinityを設定する機能を追加する。	
3601	機能	終了	C++のRTC作成用テンプレートにDEB/RPMパッケージ作成機能を追加する	
3413	機能	終了	スレーブマネージャの名前によるグルーピング	30.0
3412	機能	終了	名前付けポリシー機能の拡張	30.0
3411	機能	終了	名前ベースのコンポーネント指定方法の実装	30.0
3410	機能	終了	共有メモリ型データポート接続機能	30.0
3409	機能	終了	セキュアな通信機能	30.0

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
3408	機能	終了	サービスポートのダイレクト接続機能	30.0
3407	機能	終了	ダイレクトデータポート接続機能	30.0
3406	機能	終了	トピックベースのポート接続機能	30.0
3405	機能	終了	起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（非同ープロセス）	20.0
3404	機能	終了	コンポーネント起動時に事前設定に従い起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス）	20.0
3403	機能	終了	起動時にコンポーネントをアクティベーションする機能（同ープロセス）	30.0
3402	機能	終了	コンポーネント起動時に事前設定に従いポート同士を接続する機能（同ープロセス）	30.0
3401	機能	終了	ネームサービス操作関数セットの実装	30.0
3400	機能	終了	コンポーネント操作関数セットの実装	30.0
3274	機能	終了	スレーブマネージャの名前によるグルーピング	
3273	機能	終了	名前付けポリシー機能の拡張	
3272	機能	終了	名前ベースのコンポーネント指定方法の実装	
3271	機能	終了	ネームサービス操作関数セットの実装	
3270	機能	終了	コンポーネント操作関数セットの実装	
3269	機能	終了	共有メモリ型データポート接続機能	
3265	機能	終了	セキュアな通信機能	
3263	機能	終了	トピックベースのポート接続機能	
3262	機能	終了	起動時にポート同士を接続する（非同ープロセス）	
4032	サポート	終了	ソースからインストールした時のヘッダのタイムスタンプ	
4411	サンプル	担当	SimpleService の仕様が他の言語と異なっている。	
4472	整備	新規	コマンドラインオプション	
4272	整備	新規	rtcprof_javaをexe化する	
3608	整備	新規	ログにエスケープシーケンスが入るため見づらくなる	
4444	整備	担当	rtc.confのデフォルトファイルパス	
4443	整備	担当	manager.refstring_pathの機能を削除する	
4434	整備	担当	ComponentObserverConsumer モジュールをデフォルトで本体ライブラリに組み込む	
4427	整備	担当	SDO サービスコンシューマの動作確認	
3039	整備	担当	ネームサービスに登録する名前のフォーマットに関する改良	
4556	整備	解決	rpmパッケージへSSLTransportを追加する	
4538	整備	解決	RTSE上でマネジャー経由でOpenCVサンプルRTCを起動できるようにrtc.confを整備する	
4527	整備	解決	Linux用のrtcd_java, rtcprof_javaスクリプトでRTM_JAVA_ROOTを定義する	
4525	整備	解決	configure.acのライブラリ検索パスに新たなパスを追加する	
4486	整備	解決	Windows環境でのビルド時、OpenSSLのバイナリを組込む処理を追加する	

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
4469	整備	解決	rtc.confのログレベルの修正	
4461	整備	解決	コマンドラインオプションに関するコメントの修正する	
4432	整備	解決	Linux用OpenRTMConfig.cmakeのOPENRTM_INCLUDE_DIRSへrtm/extのパスを追加する	
4204	整備	解決	テンプレートからCMakeポリシー「CMP0002」の定義を外す	
4173	整備	解決	make installでビルドとインストールの実行時にdoxygen_classref.confでエラーになる	
4170	整備	解決	RTCテンプレートにmsi用のupgrade GUID設定を追加する	
3786	整備	解決	omniidl.exeでC++, PythonどちらのIDLコンパイルも可能となる環境を整える	
4552	整備	終了	Python3.6の場合、Tkinterのimportは全て小文字で表記しないとエラーになる	
4460	整備	終了	コマンドラインオプションに関するコメントの修正する	
4209	整備	終了	Python3でsetup.pyを実行した場合にエラーが出る問題	
4154	整備	終了	Raspbian環境でcpackによるdebパッケージ作成に対応させる	
4153	整備	終了	RTC生成時のrtc.confへ送信データのMAXサイズを定義する	
4135	整備	終了	doxygen設定ファイルdoxyfile.inを整備する	
4134	整備	終了	ドキュメント生成タブの「作成者・連絡先」情報がPROJECT_MAINTAINERにセットされるようにする	
4133	整備	終了	cmake_minimum_requiredを3.0.2とする	
4132	整備	終了	インストールされているOpenRTM-aistのバージョン番号取得処理を見直す	
4023	整備	終了	RCP版RTSystemEditorのマージモジュールをEclipse4.4ベースで作成する	
4010	整備	終了	データポート生成部分の修正	
3993	整備	終了	C++のRTC作成用テンプレートを整備する	
3992	整備	終了	PythonのRTC作成用テンプレートを整備する	
3982	整備	終了	PythonのRTC用idlcompile.batでのパスとIDL設定を変更する	
3980	整備	終了	C++のRTC作成用テンプレートのWindows用インストーラ作成機能を整備する	
3965	整備	終了	PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する 2	
3893	整備	終了	openrtm-aist rpmパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する	
3892	整備	終了	openrtm-aist debパッケージのexampleとdocのインストール先を変更する	
3891	整備	終了	openrtm-aistのdebパッケージにexampleディレクトリが含まれないようにする	
3890	整備	終了	CMakeLists.txtのfind_package(OpenRTM)のHINTSを外す	
3888	整備	終了	FindOpenRTM.cmakeをリポジトリの管理から外す	
3834	整備	終了	OpenRTPのrpmパッケージ作成動作を確認する	
3833	整備	終了	PythonのRTC用のidlcompile.batを生成している処理を修正する	
3828	整備	終了	OpenRTM-aist-Javaのrpmパッケージ作成処理を追加する	
3827	整備	終了	OpenRTM-aist-Javaのdebパッケージ作成処理を追加する	
3785	整備	終了	msm作成処理においてExtTriggerサンプルを起動するbatスクリプトを追加する	

#	トラッカー	ステータス	題名	予定工数
3715	整備	終了	Windows用インストーラmsiを生成する処理を外す	
3710	整備	終了	build.xmlで設定しているバージョン番号の定義方法を変更する	
3709	整備	終了	Windows用ソースパッケージにExtTriggerサンプルを追加する	
3647	整備	終了	rpmパッケージ名のアーキテクチャをi686にする	
4156	調査	新規	ダイレクトデータポート接続のデータ転送が遅い問題	
3643	調査	新規	Java版の1.2新機能の動作確認	30.0
3609	調査	新規	Managerの再初期化	
4015	調査	解決	RTM_VC_VERSIONを変えてもPATHに反映されないことがある(1.1.2)	
4458	調査	終了	InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認	
4457	調査	終了	InPortConnectorのバッファのサイズ、ポリシーが正常に設定されているかの確認	
4013	調査	終了	RTSystemEditorRCPをWindowsで起動すると、Program Files以下のworkspaceに書き込めずに起動できないことがある。	
3832	調査	終了	OpenRTM-aist 1.2版がインストールされているLinux環境(64bit)でC++コンポーネントのcmake動作を確認する	